



「嗅覚障害について」

風邪をひいた時やひいた後ににおいを感じられなくなる、いわゆる嗅覚障害が起こることは以前から知られていました。近年、新型コロナウイルス感染症の症状のひとつとして嗅覚障害が増えており、後遺症になってしまうことが問題となっています。しかし、嗅覚障害については不明な点が多く、特効薬や確実な治療法というものは確立されていません。

嗅覚障害の原因として最も多いのは慢性副鼻腔炎（蓄膿症）です。慢性副鼻腔炎による嗅覚障害は、慢性副鼻腔炎の治療（薬物治療または手術）を行うことで、改善する可能性があります。次に多いのは感冒後、そして外傷によるものが挙げられます。原因不明の嗅覚障害もありますが、原因によらず、早めの治療が重要とされています。新型コロナウイルス感染症による嗅覚障害は、多くの場合、発症から2～4週間以内に自然に回復しますが、一部の人では長期間継続してしまいます。自然軽快しない場合には、抗炎症治療（ステロイド点鼻薬など）や漢方薬、亜鉛製剤、ビタミン剤などを投薬します。また世界的に最近注目されているのは嗅覚リハビリテーションです。日本では、ココナッツ、パイナップル、バニラなどの嗅素を用いた嗅覚トレーニングの研究を行っている研究機関があるほか、アロマオイルなどを用いて日常から自分でいろいろなにおいを嗅ぐことを習慣化して、神経を刺激することが推奨されています。嗅覚障害でお悩みの方は、医師へご相談ください。

オギジビ 豆知識



年末は**12月28日（水）11：50に受付終了します**（午後は休診）。

年始は**1月6日（金）から開始**予定です。薬の処方日数の希望などあれば、医師にお伝え下さい。

12/28（水）午後～
1/5（木）は休診です

オギジビの輪

- お友達・お知り合いに、是非おぎはら耳鼻咽喉科をご紹介ください。
- 神奈川県では珍しい、言語聴覚士のいる耳鼻咽喉科です。難聴や補聴器については大学病院レベルの診察・検査体制を整えています。
- ちょっとした不安の解消から専門的な診察まで、幅広く行っています。